

国包まちづくりニュース 3号

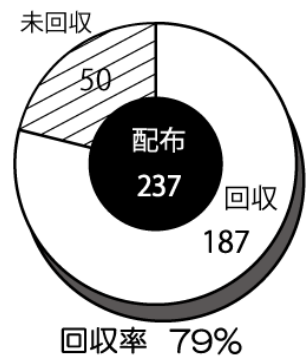
国包地区
田園まちづくりに
関する

第1回アンケート結果がまとまりました!

昨年12月に実施した「国包地区田園まちづくりに関する第1回アンケート調査」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

国包地区の具体的なまちづくり構想を検討するために、地域にお住まいの方々のご意見を聞かせていただきたいと実施いたしました。各隣保長さんにアンケートの配布・回収に大変ご尽力いただき、79%の高い回収率となりました。

みなさんのご協力に感謝申し上げます。集計結果は、抜粋してニュースの2面、3面に掲載しています。



● 田園まちづくり計画を作るとどうなるの?

これまででは

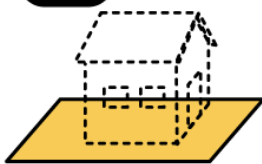
例1



空地

空き地に分家住宅を建てる場合は、人（分家の要件を持つ人）と土地（線引き前から所有）の要件を満足する必要がありました。

例2



線引き^{※1}前から建っている住宅はだれでも住宅として使用できます。また、建て替えもできますが、解体してしまうと、その土地は例1の空地と同じ土地になってしまいます。

例3



線引き後に許可を受けて建てた住宅はその許可要件（分家住宅など）を満足する人しか使用できません

田園まちづくり制度に

より区域指定を受けると建築ができます。

例えば、

- ①地縁者^{※2}の住宅区域
- ②新規居住者の住宅区域



※1：線引きとは、市街化区域と市街化調整区域に区分された日（昭和46年3月16日）

※2：地縁者とは、その集落及び近隣集落（最大小学校区内）に通算して10年以上居住する者又は居住していたものをいいます。

既存宅地制度

線引き前からの既存宅地（登記簿に宅地と記載、又は建物が存在）であれば、だれでもどんな用途でも建築が可能

既存宅地制度廃止

平成18年5月
（経過措置期間終了）

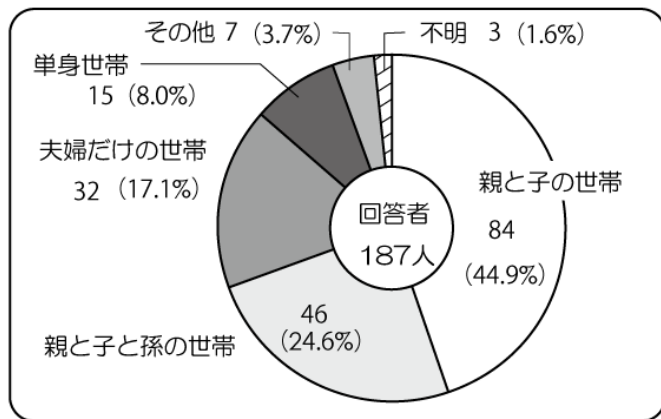
田園まちづくり制度

国包地区田園まちづくりに関する第1回アンケート調査結果報告

【世帯構成】

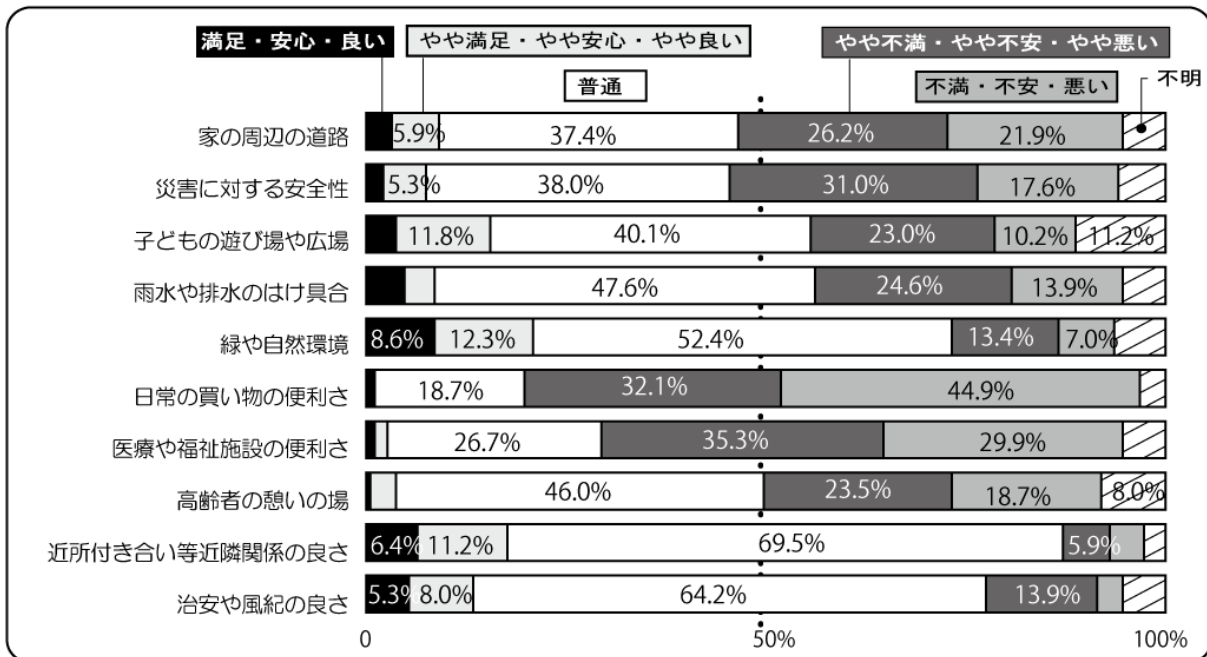
アンケートに回答いただいた187人のうち、最も多いのが「親と子の世帯」44.9%で、「親と子と孫の世帯」24.6%、「夫婦だけの世帯」17.1%と続いています。

国包地区でも親と子だけの核家族化が進んでいるようです。



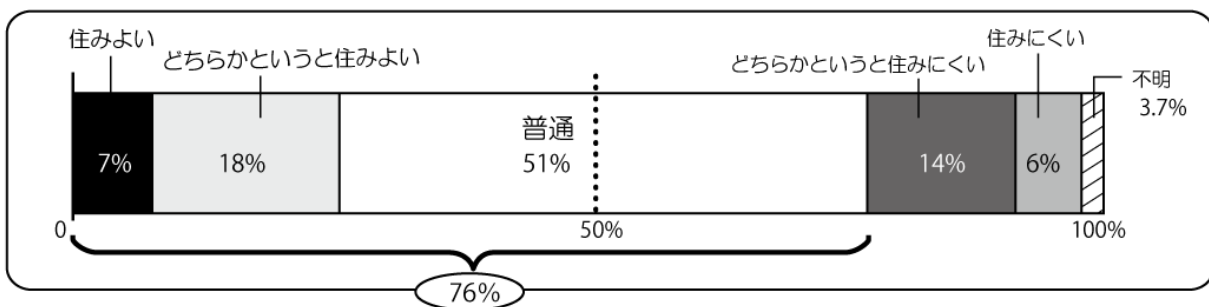
【現在の国包地区の住環境やコミュニティについてどのように感じておられますか】

現在の住環境についての評価をみると、「近所付き合い等」と「緑や自然環境」については満足・やや満足の方が不満・やや不満の方を上回っていますが、その他の項目では不満・やや不満の人が満足・やや満足の人を上回っています。



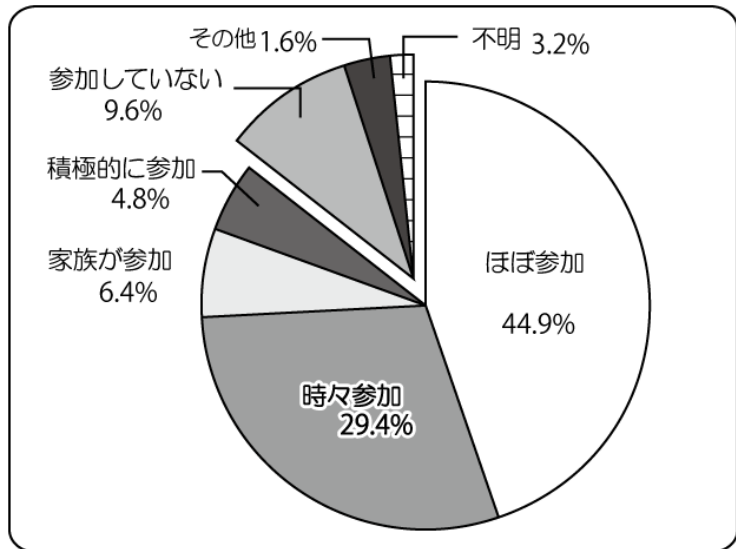
【現在の国包地区は住み良いところだと思われませんか】

全体的な住みやすさについては、半数以上の方が「普通」と答えておられ、「住みよい」「どちらかという住みよい」を加えると、全体の76%以上の方が国包は概ね住みやすい地区だと感じておられるようです。



【町内会等の行事には参加されていますか。】

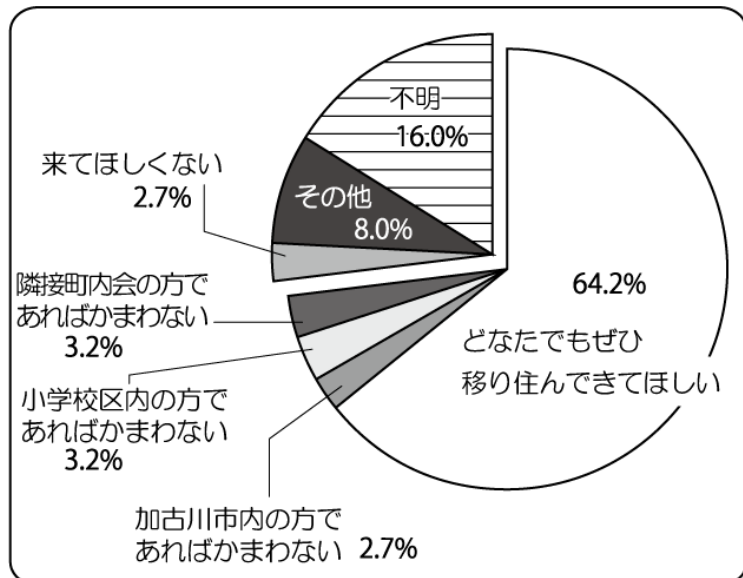
「ほぼ参加」44.9%が最も多く、「時々参加」29.4%、「家族が参加」6.4%、「積極的に参加」4.8%を加えると、85%以上の方が何らかの形で町内会等の行事に参加されています。



【地区外の方が移り住んでこられることに対してどう思われますか。】

田園まちづくり制度では、区域指定を受けると地縁者の住宅や新規居住者の住宅等が建築できることとなります。

「どなたでもぜひ移り住んでほしい」64.2%が最も多く、地区外の方が移り住んでこられることに対しては、73%の方がかまわないと考えておられるようです。

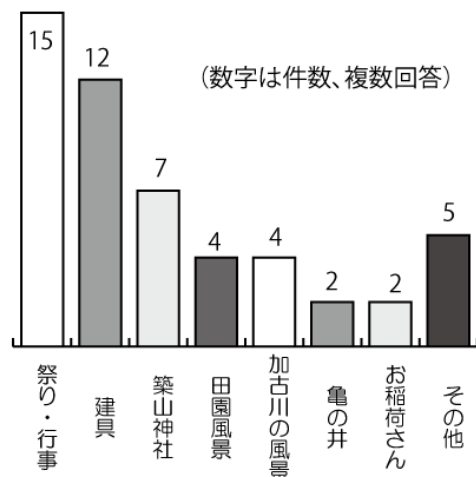


【国包の魅力として残していくべき、受け継いでいくべきもの】

国包の魅力として残していくべき、受け継いでいくべきものについては、39の方が意見を書いておられます。

分類すると「祭り、屋台は人と人をつなぐもの。地域活性。屋台を通じて、若者に国包の魅力を」「行事、祭り、村の活性化として継いでほしい」など祭りや行事などをあげる方が最も多く、次いで「建具で有名なことから、地域産業として残して欲しい」など建具を挙げる方が多かったです。

そのほか「築山神社」や「田園風景」「加古川の風景」を国包の魅力として残していくべきだという意見などがありました。



● まちづくり協議会を毎月開催しています

第3回まちづくり協議会は1/19（土）、第4回は2/15（金）、それぞれ夜7時から国包公会堂で開催されました。

昨年末に行った「まち歩きウォッチング」の後まとめた「まちづくり夢マップ」やアンケート調査結果をもとに「国包地区未来予想図」を作り、国包地区が将来どんなまちになればいいかを話し合いました。参加者からは「屋台が通れるくらいの道路拡幅が必要」、「三木鉄道跡地の活用」、「消火栓の設置による火災時における危険箇所の



<2月15日の協議会のもよう>

解消」、「下水道の早急な整備」、「稲荷神社、築山神社、地藏堂や火の見櫓（やぐら）の保全」など様々な意見が出されました。

未来予想図には、「このあたりの道が広くなったらいいのに」、「このあたりの自然や歴史、まち並みを守っていきたい」、「このあたりに新規居住者が来てほしい」などと書き込んでいきました。これらをまとめて、3月末までには「まちづくり方針」などを決めていきたいと考えています。



◆国包地区未来予想図

◆国包地区まちづくり夢マップ

3月のまちづくり協議会は、3月14日（金）午後7時から国包公会堂にて開催します。気軽に参加してご意見をお聞かせください。

連絡先：国包地区まちづくり協議会（ ） ☎